

審査結果報告書

平成 29 年 1 月 27 日

主 査 氏 名

石 川 均



副 査 氏 名

半 田 知也



副 査 氏 名

福 田 倫 也



副 査 氏 名

堀 口 利之



1. 申請者氏名 : 藤村 芙佐子

2. 論文テーマ : 緑内障性視野障害を有する患者の QOL に対する眼優位性の影響の検討

3. 論文審査結果 :

本研究は、緑内障性視野障害を有する患者に対し日常生活に関するアンケート調査 The 25-item National Eye Institute Visual Function Questionnaire (VFQ-25) を実施し、患者の QOL に影響を及ぼす因子を分析した。また、両眼開放下においては眼優位性が存在し、視機能に影響することから眼優位性に着目し検討を行った。

VFQ-25 スコアは、「運転」の項目が最も低い 48.9 点であった。日常両眼開放下において視野障害を自覚している患者は 25.5%、自覚のない患者は 74.5%で、視野障害の自覚あり群、なし群ともに、VFQ-25「運転」項目に対して優位眼のパラメーターが影響因子として抽出された。以上の結果より両眼の矯正視力が 0.7 以上であり比較的視力が保たれているが緑内障性視野障害を有する患者の QOL に対して、視野障害が影響を及ぼしている可能性は低いと考えられた。しかしながら、運転についてはアンケートスコアが最も低く、多くの視覚情報を素早く同時に処理しなければならない場面では、優位眼の視野障害の程度が影響を及ぼしている可能性が示唆され、患者への注意喚起が必要であると考えられた。

藤村氏は非常にシンプルに要点をついた発表を行い、質疑応答に対しても素晴らしい討論を行っていた。

以上の結果より本研究は学位論文として価値のあるものと判断した。